

「緑のカーテンでやさしい暮らし」

風を呼ぶ

●環境

- ・ 3 R 資源 リデュース(削減)・リユース(再使用)・リサイクル(再生)
- ・ 省エネ エネルギー 石油・ガス・電力・水道水等の削減
- ・ エコ 自然環境 環境保護・環境共生

●地球温暖化とヒートアイランド

地球温暖化は温室効果ガスの増加、ヒートアイランドは都市の密集化に起因。

- ・ 空調システム、電気機器、自動車などの人間活動による排熱増。
- ・ 建築物・舗装面の増大による地表面の蓄熱増。
- ・ 緑の減少、水辺の減少による冷却減。
- ・ 建築物の高層化・密集化による通風減。

●住まいと緑の役割

- ・ 依存型共生 「防風・防火・防暑・防震」
- ・ 自己型孤立 「見た目の美しさ」「維持管理の簡便さ」
- ・ 自己型共生 「微気候」「コミュニティ」「景観」

微気候 地表面近くの周辺に起きる僅かな気候の変化。

●京町家に学ぶ

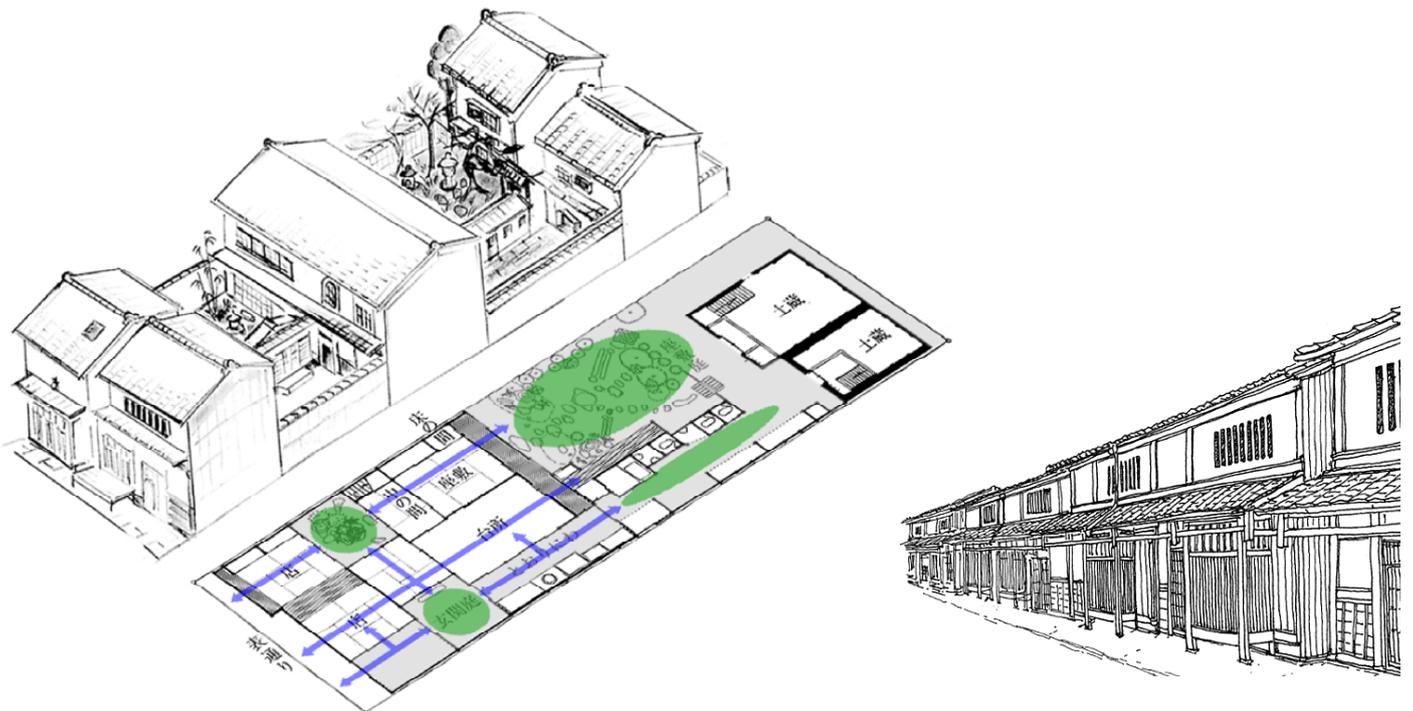
吉田兼好(鎌倉時代)『徒然草』

「家の作りようは夏をむねとすべし。冬はいかなる所にも住まる。暑きころ、わろき住居はたえがたき事なり」

・京町家 表屋造り(おもてやづくり)

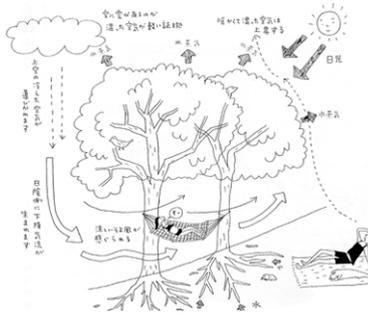
とおりにわ(店庭・玄関庭・はしり庭)、坪庭(表庭・座敷庭)

簾・障子・簾戸、欄間・地窓、格子・虫籠窓、火袋・縁の下・庇、瓦・土壁

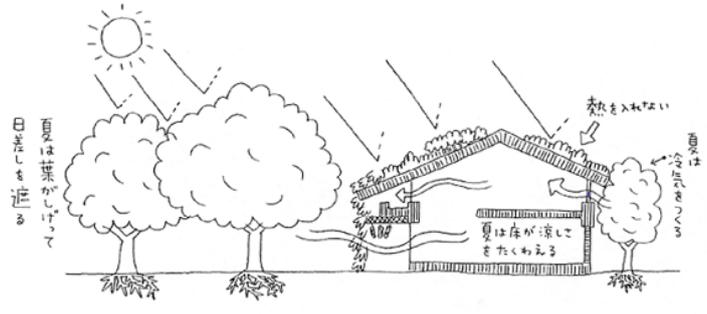


●微気候をつくる

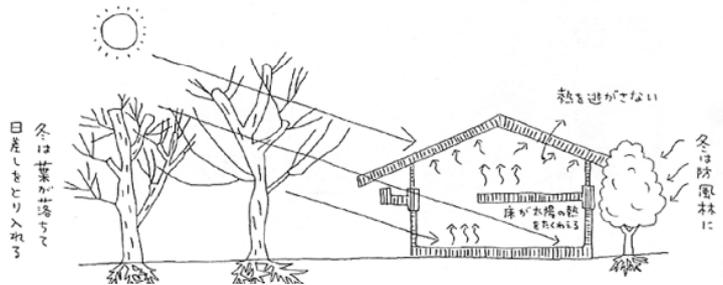
南側に植えられた落葉樹が日影をつくり夏の室内を涼しくしながら、北側の常緑樹が地面に冷気をつくります。陽が当たる南側にだけ日射をさえぎるカーテンのような感覚で樹木を植えますが、北側にも植えると、南の暖気と北の冷気によって気圧の差ができて風が通るようになります。



夏



冬



●緑のカーテン

スタレをかけると、涼しい。スタレに水をかけると、なお涼しい。いつも水をかけているのは、たいへん。そこで、緑のカーテンは水の膜。これで室内が涼しくなります。

でも、緑のカーテンだけでは、クーラーなしの「やさしい暮らし」ができるわけではありません。

- ・植栽 南に落葉樹・北に常緑樹、冷却
- ・日除 ベランダ・駐車場、蓄熱・輻射熱
- ・通風 入口・出口、夏に北風
- ・断熱 高気密高断熱、ガラス面

●夏を涼しく

日の出 5:00 前後

早朝：7:00 東・南の窓を閉める、8:00 西の窓を閉める

昼間：東・南・西の窓を閉め北の窓は開ける。(外気温 35 度、室内気温 27～29 度)

落葉樹 緑のカーテン『日差しを遮る』

日の入 18:30 前後

夕方：18:00～19:00 窓を開ける、常緑樹 東・南・西に打ち水『風を呼ぶ』

夜間：1:00～6:00 窓を開ける(夜間換気、外気温 26～27 度) クールダウン

●風の道

我が家から風の道がつながる

うちの緑

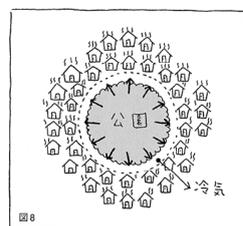
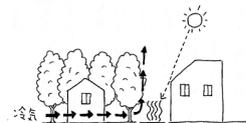
お隣の緑

街路の緑

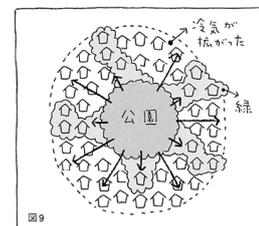
公園の緑

川面の緑

山里の緑



立ち並ぶ家が熱の塊となって、公園の冷気が拡がって中が暖かい。



緑を介して冷気が拡がって中が涼しく。